

平成28年11月定例会 議事録

- ・日 時：平成28年11月10日（木）19：00～20：40
- ・場 所：石川県NPO活動支援センター「あいむ」ロビー
- ・出席者：五十嵐、池田、大竹、黍野、木村、今度、蓮井、村中、山崎、吉田
（計6名）
- ・欠席：なし
- ・進行・記録：大竹

〈議題〉

1. 「北陸鉄道松金線廃線跡を訪ね歩く」について
2. 「市民×学生協働と交流のつどい」報告
3. 金沢市議会「金沢らしい都心軸の形成を目指して」報告と意見交換
4. 金沢市民交通まちづくり「市民フォーラム」について
5. 金沢市第2次交通戦略の新しい交通システム機種選定状況について
6. 今後の活動について
7. その他

〈内容〉

議題1について

- ・参加者
当会・・・吉田、黍野、村中、木村、蓮井、池田、大竹
ののいち里まち倶楽部・・・榊谷氏、松本氏、谷口氏
LRTの会・・・毛利氏、善光氏、浜上氏、米田氏、小原氏
石川守る会・・・井上氏
一般・・・竹下氏
取材・・・北陸中日、北國
- ・当日の感想と反省点
野々市のイベントとコラボは良かった。野々市から松任までバスでなく最後まで歩いて良かったのではないかと。北鉄OBによる当時の駅や路線の解説は良かった。押野丸木駅は川の中になっており影も形もなかった。野々市駅構造も変わっていた。当時の様子や記録を後世に伝えていくことは大事。これをきっかけに市民が公共交通を考えていただければ良いと思う。村中氏から感想文の提出あり。他にも感想のある方は提出をお願いしたい。今度氏がホームページに掲載したいとのこと。
- ・今後の松金線研究と新交通システムについて
先日、米泉3丁目町会の役員の方から連絡があった。町会の歴史の一つとして松金線を調査しているとのこと。今後も情報交換していきたい。

金沢市電廃止から50年になる。北鉄のOB会が計画されているという。OBだけでなく、市や市民にも参加を広げ、過去だけでなくLRT等未来の交通システムを語るイベントが望ましいのではないか。

議題2について

大竹が夕方参加した。まちづくり団体（町会、NPO他）を紹介するポスターが50団体ほどあった。市民協働推進課担当者とは挨拶済み。

議題3について

金沢市議会「金沢らしい都心軸の形成を目指して」報告と意見交換

日時 11月22日（火）19:00～20:30

場所 玉川こども図書館 2階交流ホール

- ・当会からの参加予定者

吉田、蓮井、村中、大竹

- ・ポイント

金沢市議会交通特別委員会による富山や新潟視察報告が中心となるのではないか。市の態度や交通行政の進め方に業を煮やしている市議も多いと聞く。また、市の都市計画はいまだに「城下町」「百万石」など江戸時代からのお上意識から抜け切れていない。旧城下町の「都市内交通」しか考えておらず近郊都市との「都市圏交通」の視点が欠落している。金沢市は、プライドは高いが、百万石の「植民地」だった能登や富山の関係者からは冷ややかに見られている。

なお、市（行政側）の集約都市形成計画のシンポジウムは年明けになる見込み。

議題4について

金沢市民交通まちづくり「市民フォーラム」について

日時 11月23日（水・祝）16:00～18:30

場所 金沢市文化ホール 大集会室

- ・当会からの参加予定者

吉田、黍野、木村、村中、大竹、（蓮井）

- ・ポイント

アライづくりのためのお手盛りイベントという見方もできるが、土井勉氏の講演や発言に期待したい。民間経験もある研究者で、富山市の交通政策で実績のある方と聞く。また交通政策課長の新交通導入の意義についてのプレゼンにも注目したい。

チラシの背後のイラストには地元の各交通機関が描かれている。しかし地元の電車が省かれている。しかも右上に謎のバスが描かれている。恣意的な意図、狙いがあるのではないか。

議題5について

この23日市民フォーラム後、一ヶ月間にわたりアンケートが実施される。その結果を踏まえ、年末に専門委員会会合が開かれる見込み。22日、23日二日間のフォーラムで方向性が見えてくるだろう。

議題6について

①人と環境にやさしい交通をめざす全国大会 in 福井

日時 11月27日(水・祝) 10:00～

場所 福井市AOS SA (JR福井駅東口)

LRTの会から数名が参加するとのこと。積極的に参加して欲しい。

②外国人との交流会

吉田氏が知人の留学生を招いて実施する。以前の韓国水原市交流会のように定例会にあわせるのが望ましい。

次回予定 … 定例会 28年12月1日(木)、19:00～ 「あいむ」にて
29年1月は、1月12日(木)。